

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 28 年 7 月 21 日 (2016.7.21)

【公表番号】特表 2015-526972 (P2015-526972A)
【公表日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)
【年通号数】公開・登録公報 2015-057
【出願番号】特願 2015-520658 (P2015-520658)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

H 0 4 N 19/597 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/597

【手続補正書】
【提出日】平成 28 年 6 月 3 日 (2016.6.3)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

ビデオデータを処理する方法であって、前記方法は、

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための 1 つまたは複数の初期シンタックス要素を処理することと、ここにおいて、前記 1 つまたは複数の初期シンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオパラメータセット中で、前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシンタックス要素を受信することと、ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、スキップされるべきである前記ビデオパラメータセット中のバイト数を識別し、ここにおいて、前記 1 つまたは複数の初期シンタックス要素が前記ビデオパラメータセット中の前記オフセットシンタックス要素に先行する、

前記オフセットシンタックス要素に基づいて、前記ビデオパラメータセット内のシンタックス要素をスキップすることと、

前記ビデオパラメータセット中の 1 つまたは複数の追加のシンタックス要素を処理することと、ここにおいて、前記 1 つまたは複数の追加のシンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中の前記スキップされるシンタックス要素の後に位置する、を備える、方法。

【請求項 2】

前記処理がメディアアウェアネットワーク要素 (MANE) によって実行され、前記方法が、前記ビデオデータをクライアントデバイスに転送することをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ビデオデータを処理する方法であって、前記方法は、

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための 1 つまたは複数の初期シンタックス要素を生成することと、ここにおいて、前記 1 つまたは複数の初期シンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシンタックス要素を生成することと、
ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、スキップされるべきである前記ビデオ
パラメータセット中のバイト数を識別し、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シン
タックス要素が前記ビデオパラメータセット中の前記オフセットシンタックス要素に先
行する、

スキップされるべきである前記バイトに対応する、スキップされるべきシンタックス要
素を生成することと、

前記ビデオパラメータセット中に1つまたは複数の追加のシンタックス要素を生成する
ことと、ここにおいて、前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素が、前記ビデオパ
ラメータセット中でスキップされるべき前記シンタックス要素の後に位置する、
を備える、方法。

【請求項4】

前記スキップされるシンタックス要素、またはスキップされるべきシンタックス要素が
、可変長コーディングを使用してコーディングされる1つまたは複数のシンタックス要素
を備える、請求項1または請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素が追加の固定長シンタックス要素を備え
、前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素が、前記オフセットシンタックス要素に
後続し、前記スキップされるシンタックス要素、またはスキップされるべきシンタックス
要素に後続する、請求項1または請求項3に記載の方法。

【請求項6】

前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が、セッションネゴシエーションに関係す
る情報を含むシンタックス要素を備える、請求項1または請求項3に記載の方法。

【請求項7】

前記1つまたは複数の初期シンタックス要素がビデオデータのベースレイヤのためのシン
タックス要素を備え、前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素がビデオデータの
非ベースレイヤのためのシンタックス要素を備える、請求項1または請求項3に記載の方
法。

【請求項8】

前記方法が、ビデオエンコーダによって実行される、請求項3に記載の方法。

【請求項9】

前記方法が、符号化ビデオデータを処理するように構成された後処理デバイスによって
実行される、請求項3に記載の方法。

【請求項10】

ビデオデータを復号する方法であって、前記方法は、

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための1つまたは複数の
初期シンタックス要素を復号することと、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シン
タックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも
前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオビットストリーム中で、前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシ
ンタックス要素を受信することと、ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、
スキップされるシンタックス要素に対応することとを識別し、ここにおいて、前記1つまた
は複数の初期シンタックス要素が前記オフセットシンタックス要素に先行する、

スキップされるべき前記シンタックス要素を復号することと
を備える、方法。

【請求項11】

前記スキップされるシンタックス要素が1つまたは複数の可変長シンタックス要素を備
え、前記スキップされるシンタックス要素を復号することが、エントローピー復号プロセス
を実行することを備える、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための1つまたは複数の初期シンタックス要素を処理するための手段と、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオパラメータセット中で、前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシンタックス要素を受信するための手段と、ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、スキップされるべきである前記ビデオパラメータセット中のバイト数を識別し、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が前記ビデオパラメータセット中の前記オフセットシンタックス要素に先行する、

前記オフセットシンタックス要素に基づいて前記ビデオパラメータセット内のシンタックス要素をスキップするための手段と、

前記ビデオパラメータセット中の1つまたは複数の追加のシンタックス要素を処理するための手段と、ここにおいて、前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中の前記スキップされるシンタックス要素の後に位置する、を備えるビデオ処理デバイス。

【請求項13】

ビデオ処理デバイスであって、

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための1つまたは複数の初期シンタックス要素を生成するための手段と、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシンタックス要素を生成するための手段と、ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、スキップされるべきである前記ビデオパラメータセット中のバイト数を識別し、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が前記ビデオパラメータセット中の前記オフセットシンタックス要素に先行する、

スキップされるべきである前記バイトに対応する、スキップされるべきシンタックス要素を生成するための手段と、

前記ビデオパラメータセット中に1つまたは複数の追加のシンタックス要素を生成するための手段と、ここにおいて、前記1つまたは複数の追加のシンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中でスキップされるべき前記シンタックス要素の後に位置する、を備える、デバイス。

【請求項14】

ビデオ処理デバイスであって、

ビデオビットストリームに関連するビデオパラメータセットのための1つまたは複数の初期シンタックス要素を復号するための手段と、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が、前記ビデオパラメータセット中のどんな可変長シンタックス要素よりも前に位置する固定長シンタックス要素を備える、

前記ビデオビットストリーム中で、前記ビデオパラメータセットのためのオフセットシンタックス要素を受信するための手段と、ここにおいて、前記オフセットシンタックス要素が、スキップされるシンタックス要素に対応することを識別し、ここにおいて、前記1つまたは複数の初期シンタックス要素が前記オフセットシンタックス要素に先行する、

スキップされるべき前記シンタックス要素を復号するための手段とを備える、方法。

【請求項15】

実行されたとき、1つまたは複数のプロセッサに請求項1から11のうちのいずれかに従って方法を行わせる命令を記憶したコンピュータ可読記憶媒体。